

学校目標 「豊かな人間性を持ち、たくましく未来を切り拓く子どもの育成」

【めざす児童像（具体目標）】

- (1)や;「やすおかを愛する子」
泰阜の自然や人から多くを学び、それらを生活に生かしていける子ども
- (2)す;「すすんで学ぶかしこい子」
自ら学び、判断し、創造していく思考、態度、能力を高める子ども
- (3)お;「おもいやりのあるやさしい子」
相手の立場に立って考え、相手の立場になって行動し、仲良く協力し合う子ども
- (4)か;「からだと心をきたえる元気な子」
健康なからだど、いかなる困難にもくじけない強い意志をもつ子ども

地しし知
域て、・
でい社徳
育く会・
て子的体
るどにが
も自調
を立和

【地域の目指す子ども像】

【学校経営の基本構想】
(校長ビジョン)

- 来たくなる・行かせたく
なる学校づくり
- ◆授業が分かる
- ◆人の気持ちがわかる
- ◆自己を律する
- ◆安心・安全
- ◆地域とともに歩む

【児童の実態】

- ・基礎学力の向上により授業が楽しいと感じ、学習に意欲的に取り組む子ども
- ・泰阜の自然や文化に関わる学習を通して、地域の良さを実感している子ども
- ・児童会の縦割りグループを中心に他学年の友だちとも仲よく一緒に活動できる子ども
- ・決められたことを素直に受けとめ、誠実に取り組める子ども
- ・場に応じた話し合いを行ったり、自分の「思い」を伝えたりすることが、やや苦手な子ども
- ・自ら進んであいさつをする意識がやや弱い子ども

【重点】

コミュニケーション力の向上（聴く・考える・伝える・振り返る）

重点を達成するための手立て

【自ら学び、学びあい、
考え、発信する】

- ◆特別支援教育の視点に立
った授業環境づくり
- ◆読み書き能力の育成
(基礎学力の充実)
- ◆ねらい・めりはり・みと
どけの徹底
- ◆話し合い場面を位置づけ
た授業の実施
- ◆発表場面を位置づけた授
業の実施
- ◆タブレットの活用（I C
T機器の活用）
- ◆教職員の指導力向上

【自他を認め、
関わり合う】

- ◆時と場に応じた言葉づか
いができる子どもの育成
- ◆相手を意識した聴く姿勢
と相手への伝達
- ◆振り返り場面の設定
- ◆話し合い活動の充実
(学級活動・児童会)
- ◆児童会活動・縦割り活動
の充実
- ◆読書活動の充実
(読み聞かせ)
- ◆全校俳句教室の実施
俳句づくりの継続

【心身を鍛え、
自己を律する】

- ◆あいさつが響き合う学校
づくり
- ◆基本的な生活習慣の確立
「早寝、早起き、朝ご飯」
の習慣化
- ◆安心・安全なメディア利
用の啓発
- ◆体を動かす場の設定
- ◆食育指導の充実
- ◆できるだけ歩いて登下校
- ◆家庭との連携を図る。

【郷土と人に学ぶ】

- ◆泰阜村の豊かな自然と地域性を生かした教育の推進
- ・地域の方から学ぶ体験的な活動（読み聞かせ、わくわく講座、交流活動、食育、地域めぐり等）
- ・学校美術館創設時の「貧すれど食せず」の精神に学ぶ学習の実施。
- ◆家庭との連携
- ・広報活動の充実、保護者・だいだらぼっちとの連絡体制の充実
- ・家庭で行うことの協力依頼（基本的な生活習慣、あいさつ、家庭学習の見届け、メディア利用）
- ◆コミュニティスクールの活性化
- ・運営協議会、保護者、学校との共通理解と協働